

就業管理システム

勤怠を管理する本システムは、単にタイムレコーダとしての機能だけではなく、入力データを元にした帳票や他システムとの連携機能を強化しています。また先進ツールGeneXusを利用した開発により、拡張性の高いシステムを実現しました。

社内連携をサポートする、就業管理システム

本事例のユーザ様では就業管理システムをこれまでも自社開発により稼働されてきました。この就業管理システムでは各部署に配置されたパソコンをタイムレコーダ代わりに各社員が出退社を入力し、その出退社データを元に管理帳票や給与システムへのデータ出力ができるようにしており、事務作業の軽減に寄与しています。また遠方の工場と本社をオンラインで結び、勤怠データの連携・集約を図っています。

この就業管理システムの開発には表計算型データベースツールが使われており、その分かりやすさ、開発のし易さも手伝い、就業管理以外の社内システムの開発にも利用されています。しかし、最近ツール自体の陳腐化や、データベースの不用意なロックや破損が問題になっていました。

そこでこれらの問題を解決しつつ、開発が容易でかつ保守性の高い開発ツールという事で、GeneXusを採用し、手始めに本件の就業管理システムのリプレースをさせて頂きました。GeneXusは各種プログラミング言語に対応したジェネレータを切り替えることによりプラットフォームに依存しない開発が可能です。今回はC / S 型システムとし、生成言語にはNet C#、DBMSにはSQL Serverを採用致しました。

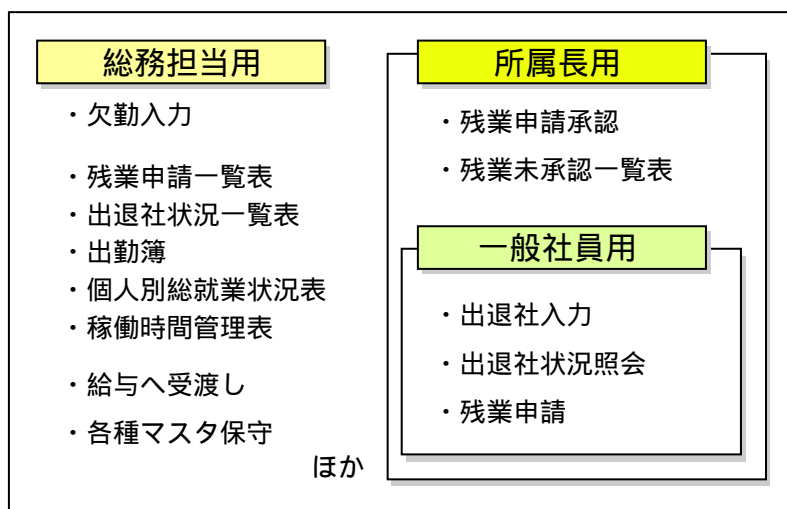


図1 機能構成図

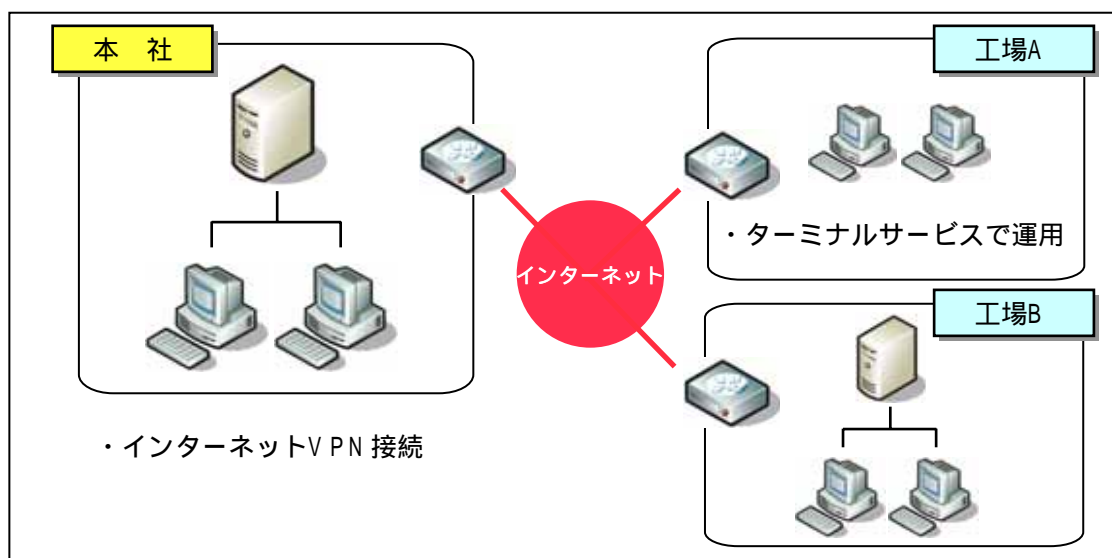


図2 システム構成図